

第5回石狩市地域公共交通活性化協議会 議事録

日 時 平成31年1月16日（火）14時00分～15時30分

場 所 石狩市役所2階 201会議室

出席者 岸邦宏会長、小鷹雅晴副会長、新岡研一郎委員、有路剛委員、照井幸一委員、笠松周悟委員、菅野誠委員、梅本利男委員、岡田祥治委員、高島健委員、河合保郎委員、大久保満彦委員、福岡順子委員、池田篤司委員、久保田貴浩委員、中山俊彰委員、原口ゆみ子委員

事務局 企画課交通担当課長 上窪健一、企画課交通担当主査 鈴木徹哉

傍聴者 2名

次 第

1. 開会

2. 議題

- ・石狩市地域公共交通網形成計画書（素案）について
- ・地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

3. その他

4. 閉会

==== 審議内容の記録（審議経過、質疑、意見等）====

※ 以下の質疑・意見については、○は委員発言要旨、●は事務局発言要旨

1. 開会

2. 議題

- ・石狩市地域公共交通網形成計画書（素案）について（※事務局より説明）
- ・地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について（※事務局より説明）
- 石狩市地域公共交通網形成計画（素案） <資料1>
- 石狩市地域公共交通網形成計画（素案）【概要版】 <資料2>

【質疑・意見】

○バスを使う人が、今一番困っていることは、浜益のデマンドバスが土日祝が運休していることや、路線バス厚田線の本数が少ないため、買物や病院に行っても帰りの便が少なく非常に不便していることなどである。例えば、この協議会に出てくるのも、朝から出てこないと出席できない。これらすごく困っていることが、本当にちゃんと解消されて、改善してもらえるのか。また、何年先に改善されるのかが、この計画書を見ても書かれていないので不満でならない。一番困っていることを並行して一緒にやっていかなかったら意味がないのではないのか。交通問題は、すごく深刻である。

○現実的な話として、一番困っていることを施策の中でどのように位置づけするかということが行政の役目であり、どこにバス路線を持っていくとか、その困り感をどう解消するかというのは、限られた予算の中で行う場合には、やはり優先順位があり、すべての困り感を解消出来るとは、元々思っておらず、その中で、困り感をどれだけ良く出来るのかというところを、今回、様々な調査の中で、ターゲットをしっかりと絞って、将来的にやっていこうというのが、公共交通網形成計画である。

また、その困り感も、例えば、石狩湾新港地域の就業者の数とか就労者の質というのも毎年変わっていくため、施策の中で優先順位を付けて決めていきたいと考えている。

その中ではもちろん、交通事業者と協議し、例えば市が税金で幾ら位まかなえたら「こういう状態に出来るのか」というようなことも検討して行きたいと考えている。

○「今後の施策とそれをやりましょう」というところが第5章以降であり、「どういう風にやっていくのか」というような書きぶりが、果たして適切かどうかというところが議論したいところである。「いつになったらやるのですか」というのは、ここに書いてある通りであり、この5年以内でやれることはここに書かれており、これでいいかという視点でご意見を頂ければと思う。

また、今日の議論は、「困っている、困ってない」という議論ではなく、今までの協議会の議論の中で出てきた意見が、第4章の中までに「反映されているか、具体的に何が入っていないのか」ということを言って頂かないと、協議会はまとまらない。

○「何年たっても解決されない。バスの時間も変わらない。色々なことが変わらない。いつになったら解消、解決されるのか。」というのが、先ほどの意見の根底にある。

○バスの便数や時間帯に関する施策では、77 ページのところに「市民が安心して生活できる公共交通を確保」というのがあって、「現在のバス路線・デマンドバス（浜厚線・滝浜線）の維持・確保に努める」というように書いており、「浜益のデマンドバスは、廃止しません」と言っている。

また、「利用者ニーズの不一致における路線」については、「交通事業者と協議検討する」ということも書かれており、それをやるかやらないかは別として、計画としてそういうことが書かれているが、「書いたところでどうせやらないのだから」というのが、意見の根底にある発言であれば、それはちょっと違う。

○77 ページの「現在のバス路線、デマンドバスの維持、確保に努める」の維持・確保というのは現在のままということだと思いが、「それでは、生活が困る」というのが多くの意見であるため、もうちょっと違う言葉で具体的にはっきり書いて欲しい。

○それは、77 ページの 2 つ目の「利用者ニーズとの不一致がみられる路線やダイヤについては、改善に向けて検討する」ということではだめなのか。

○また、いつやるかという話は、88 ページの施策 1 に「現行サービスレベルの維持・確保・改善」というのは、2019 年から 2023 年で行い、「改善については順次実施する」と書いてある。

○この書き方だとちっとも具体的じゃない。計画上はこういう風を書くしかないとは思いますが、こういう書き方だといつになるかわからない。そして、「本当に大丈夫なのかな」って思ってしまう。また、「予算がないから出来ません。だめでした」では、不信感を持ってしまう。

○役所的な立場から言うと、計画のすべてに予算付けをされて、年次や効果も入って出来上がるのが理想だと思うが、今の日本じゃなかなか難しく財源が紐付けされてないことをご理解して頂きたい。

○「現行サービスの維持・確保・改善は 2023 年までに取り組んでいきましょう」としているが、どこまで出来るのかということは、今の段階では確約出来ない。

○この計画は、ある程度の予算が取れた上で進めているのだと思っていた。

○ある程度の予算感を持っている。石狩湾新港地域へのバスなどは、今後、「市税を投入してでも実行しよう」という、市長の判断で決まる場合もある。絵に描いた餅にするつもりで計画を立てている訳ではない。

○目標値の設定のところで、「満足度を 10%から 20%に 10%アップしますよ」とか、「新港の利用者を 2%から 10%に増やすことを目標値とします」などとしているが、そういう数値目標の根拠というものは何かあるのか。

●数値目標については、「100%目指します」というのはまず無理だと思うので、現状の数値が 2%だとか 12%だとしてた中で、なんとか頑張れば実現出来そうなところで数字を求めた時に 20%などとわかりやすい数値を目標としたところであり、定数的な目標ではない。

○基本方針③の施策 8（モビリティ・マネジメントの推進）で、我々住民としては、危機感を持ち「このままでは公共交通機関がなくなるので、もっと公共交通機関を利用しよう」という意識改革をしていくということは、難しいことだが、必要性はすごく理解した。

○この施策8の実施主体のところで、「協議会と交通事業者」となっているが、この2者が主体で行うということなのか。それとも我々が何か公共交通機関の利用促進をしていくためのキャンペーンを行ったりするということなのか。

●協議会の実施主体が石狩市であるので、市が主体となって行っていきたいと考えている。なお、各施策の内容については、協議会がブレンとなっているので、毎年協議会を開催してフォローアップしていく予定である。

○基本方針の中に「持続可能じゃなくても、やらなきゃならないことは検討する」ぐらいの書き込みがあった方が良いのではないのか。

また、厚田・浜益の住民は言われるほど、デマンドバスの利用について認識を持っていない人が多いと思う。市の方で「将来的に免許証を返納したらデマンドバスを利用しなくなるとなる」などの市民PRを行えば、市民意識も変わってくるのではないのか。

●総合計画では、市民の移動手段が大事だということで、「持続可能な移動手段」というような書き方をしているので、書き方については検討したい。

また、2点目の市民に対する呼びかけについては、市の広報で特集を組んで将来免許を手放した時の移動手段などについて特集を組んでいるところであるが、PRについては、引き続き行っていきたい。

○前回のアンケート結果を見ると「厚田・浜益の住民は、それほどバスに頼っていない」という結果であるが、それが今後どのように変わるのかが重要なポイントになってくると思う。

○頂いた意見や細かい文言の修正等については、会長と事務局に一任したいがよろしいか。
※委員異議なしとのことから承認された。

●地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

本計画の策定費用に国の方から地域公共交通確保維持改善事業として、国庫補助を受けている。その補助を受けた際に、協議会でしっかりとこの補助事業の実施状況の確認と目標の達成状況とその評価を行う必要があり、この事業が目的どおり行われているのか協議会で評価し北海道運輸局に報告しなければならない。

計画通り事業が適正に実施されたという評価を持って北海道運輸局に報告したいがよろしいか。

※委員異議なしとのことから承認された。

3. その他

●今後のスケジュールについて

本日の議論を盛り込み、パブリックコメントを2月1日から28日までの1か月間実施し、市民の意見があれば、それを盛り込み反映して、3月の中旬に第6回協議会を開催し、計画を決定したいと考えている。

なお、協議会のメンバーの任期は今年の3月31日迄だが、延長させて頂いて、次年度以降は年に1回程度協議会を開催し、進捗状況などの検証を行うことを想定している。

4. 閉会

平成31年2月21日 議事録確定

石狩市地域公共交通活性化協議会

会 長 岸 邦 宏